

盛大に「定期発表会」が開催される！

さる3月19日、今年初めての「定期発表会」が開かれました。初心者から大ベテランまで、38名の方が吟を発表され、その中から2名に「特別指導」が行われました。また、「聴講者14名」を加えると、会員の半数を超えるという今年初めての大きな事業となりました。

「特別指導」は、何と言っても実践的・具体的で、吟じ方・指導の仕方が明確であり、一般会員、指導者の先生方共に、参加者の一人一人がそれぞれの立場で、学びの多いとても有意義なものでした。参加者からも多くの賛辞の声が聞かれました。

また、今回から、伴奏曲全てがパソコンに取り込まれ、音響担当の方の煩雑さが軽減されたことも特筆すべき事でした。秋に第2回目が開催されますが、今回参加できなかった方も、ぜひ出吟、聴講を期待しています。当日、特別指導を受けられた、お2人の感想文が届きましたので紹介します。(普及・広報部・後藤)

定期発表会で特別指導を受けて 市川富美子

高橋先生、横山先生のご指導をいただく機会を与えて下さったことに、心より感謝申し上げます。当日のご指導では、常盤御前が吹雪の中、幼子を抱えて逃げていく詩の情景を考えながら、(1)強めるところは力強く、(2)言葉の終わりは、だら～と伸ばさず止めること、(3)腹式呼吸でお腹から声を出せるようにする、(4)音を上げるところは、音を抜くように歌うのではなく母音を最後までしっかりと出す。などなど多くのご指導を頂けたことは、今後の成長のための課題を見つけられ大変うれしく思いました。



定期発表会で特別指導を受けて 西迫宗文

私は「題常盤抱弧図」を吟詠し、特別指導を受けました。ご指摘いただいた主な事項は、語句をのぼした拾い読みとなっている。読んで聞かせるように吟詠すること。(1)子音から母音を伸ばす「わたり」になっており減点対象が多い。例えば「ゆうきいわアアー」⇒「ゆきわアアー」としてわたりにならないようにする。(2)他年の「他」の発声は逆複式呼吸で力強く発生し「ねん」にあげる。(3)ねんの「ん」の発声がまずい。くちびるをとじて発声すること。(3)譜節の引き下げ最後の「ミ」音階はグッと押し下げようとする。

(4)「このオオー」とのべを少しいれる。指摘された事項の練習に励み、吟詠力の向上に努めたいと思います。ご指導下さった両先生に感謝致します。有難うございました。



第60回流碑祭の献吟を終えて 米山賀秀琳



3月21日姫路の護国神社で毎年恒例の流碑祭が行われました。姫路は吟士権大会でよく行きますが、護国神社には初めて伺いました。

その日は少し肌寒い位の天気で、神社の中に一步足を踏み入れましたら荘厳な空気が漂い、すでに沢山の皆様が来られており一気に緊張が高まりました。昨年の第30回吟士権者決定大会に於いて3部優勝という栄誉を頂きました。振り返りますと1部優勝以来何度も3部に挑戦しましたが、なかなか結果を出せず落ち込むこともありましたが、吟が好きで皆様に支えられ、今回献吟をさせて頂くことができ感謝の気持ちで一杯です。雨模様のため拝殿の中での奉納になりました。



神前での献吟
(米山賀秀琳さん)



神前での慰霊参拝
(故小林賀清風先生の奥様)

しんと静まった祭壇の前に立つと心が落ち着き何とか吟じることができ本当にほっとしました。この度の献吟は、私の吟人生に於いて大きな節目になりました。これを機に初心に戻り、賀堂流の一員として恥ずかしくないよう精進すると共に研鑽を重ね又、色々な事に挑戦して楽しく吟を続けて参りたいと思います。あいにくの天気のため、流碑の前で吟じることが出来ませんでしたので、又、姫路に伺いました折には参拝させて頂こうと思っております。



小林賀清風先生の銘板

昇格おめでとうございます！！

3月26日の昇格審査会で次の方々が昇格されました。おめでとうございます。更に上を目指して稽古に励んでください。(事務局)

初伝 小垂喜子、新庄佑三、増井一博、吉岡美保、和島一行

中伝 市川富美子

師範代 柿木浩一、後藤洋子

四段 森川洋子

(敬称略)

R5/5・6月の予定

- 5/17(水) 【公サ連祭りリハーサル】
- 5/21(日) 【公サ連祭り】
- 5/21(日) 【全国剣詩舞 京都府大会】
9:45～ 京都教育文化センター
- 5/28(日) 【長岡京吟詠会 一般研修会】
13:00～ こらさ交流室
- 6/ 3(土) 【府連審査員研修①】
18:00～ 京都アスニー
- 6/ 4(日) 【クラウン吟詠コンクール】
尼崎市総合文化センター
- 6/11(日) 【府連1部/シニア/ジュニア吟士権大会】
9:30～ ラポール京都 (事務局)

賀堂流役員総会報告

3月21日、流碑祭のあと賀堂流総本部の役員総会が開催され、下記の内容が検討されて、すべて承認されました。

- ・令和5年度事業計画
- ・令和5年度収支予算
- ・賀堂流吟士権大会開催要項(一部改定案)
- ・賀堂流90周年記念大会は令和6年12月開催とし、詳細は実行委員会で今後検討することとする
- ・令和5年度の登録会員数…一般会員 752名 少年会員29名 (普及・広報部)

牧水吟詠会の紹介その3 (最終話)

栄光への道程

西田賀公亮

私は昭和50年5月に牧水吟詠会に、入会しました。それまでに大阪にて、民謡をたしなんでおりました。田舎にかえって、今の福知山で生活していた時、おりにふれ詩吟の会への勧誘があり、入会しました。入会から3ヶ月で、地区の発表会に出て、その時「爾霊山」を吟じました。その時、七本という高さで吟詠したものですから、皆からびっくりの声が上がったものでした。

全丹地区吟詠コンクールの決勝大会で、昭和55年～56年～58年の3回、全丹地区の吟士権者の栄を賜りました。そして昭和57年の京都府総連の全国吟詠京都地区第一回コンクールにおいて、賀堂流京都本部が、第一部で西田賀公亮、二部で長岡京の円藤賀真寿先生が優勝しました。また、京都府連のコンクールにおいては、昭和58年の一部吟詩権者決定大会決勝で吟士権者の栄を賜りました。このとき、これで吟士権が取れなかったら、詩吟をやめる気持ちで挑戦しました。なぜなら牧賀公先生が3月に逝去された、その弔いの意味もあったからです。

昭和57年に日本コロムビアコンクール京都地区大会において優勝し、同僚の大槻賀公心先生が二位に入り、2人で京都地区代表として、東京中野サンプラザの舞台に出場し、三部で三位になり上位入賞者としてレコーディングし、コロムビアの一会員となりました。また愛国詩吟連盟のコンクールは、尼崎アルカイクホール一部で入賞と決勝13位でした。また、二部指導者級においては、入賞が4回、決勝で11位と8位の2回入らせて頂きました。最後に賀堂流吟士権大会に於いて平成5年において第三部で吟士権者となりました。



西田賀公亮

全国吟詠コンクール京都府大会の報告

4月9日に行われた第42回全国吟詠コンクール京都府大会で以下の皆さんが入賞されました。おめでとうございます。

幼年の部

優勝 **高橋拓来**

一般三部

10位 第二会場後半の部 **高橋周子(賀秀晶)**

入賞 **森川洋子・市丸知佐子(賀秀知)**
橋本孝司(賀秀司)

(敬称略)

高橋拓来くんは、昨年引き続き**3年連続の優勝**で、今年も近畿決勝大会に出場です。がんばってください！！

(普及・広報部)

『ぎんまい長岡京』50号達成！！

会報「ぎんまい長岡京」が令和5年4月1日付で50号に達しました。前事務局長の、故山本賀秀雲先生が試行的に会員情報紙として一年間発行されて、会で好評を得て予算を付けて印刷業者に発注することになり、18号より長岡京吟詠会「会報」として発行しました。

会員の協力もあり、内容も豊富に成長する途中に残念ながら山本先生がお亡くなりになられて、事務局と協力者で発行を続けてきました。令和4年度に普及・広報部が新設されて、「ぎんまい長岡京」の仕事を担当することになり、事務局との協同で第50号を迎えることが出来ました。平成31年3月1日の創刊号と第50号の一面トップ記事が共に、長岡京吟詠会の「総会開催」であることに重みを感じます。

令和5年度5月1日発行の第51号から、会報「ぎんまい長岡京」の仕事は普及・広報部が全て担当されます。皆さんのさらなるご協力とご支援を得て楽しく役に立ち愛される会報になる事を期待しています。

(事務局・長尾)



『ぎんまい長岡京』 編集室
編集委員長 尻枝賀秀道
編集委員 市丸、櫻澤、後藤、宮小路
※連絡・問合せ先 尻枝賀秀道
Tel: 075-954-9092